

いぶすき検定 第2回上級試験

(平成 27 年8月9日実施)

解答

1. 指宿の歴史

[1] 島津氏 (or 島津 義弘 or 島津 義久)

[2] 山川港

[3] 今和泉郷

[4] 天保改革

[5] 河野覚兵衛

上記の模範解答に対して、以下の答案をされた方につきましては、文脈上正しくつながると考えるこ
とから、正解と致しました。

1. [2] 監視・警護、港、海外貿易(山川港)、統治、

1. [4] 資金面、密貿易、裏貿易、琉球貿易

なお、部分的な誤字・脱字については、一つにつきマイナス 1 点としてあります。

2. 指宿の文化

[1] 瑞應院

むくはとじゅう
[2] 棕鳩 十

[3] 砂むし会館砂楽

[4] 稲荷神社

かばやますけのり
[5] 権山資紀

3. 指宿の自然

<解答例> 196字

指宿市には、開聞岳を筆頭に数多くの火山地形がある。

池田湖から南東へほぼ直線的に並ぶ松ヶ窪、池底、鰐池、成川、山川湾は、約5700年前に形成された火口群である。開聞岳は縄文時代の後期に活動を始めた火山である。また池田湖から南々西には、鏡池、水無池等の火口が点在する。火山学者の松本唯一博士によれば、市域の大半が約10万年前に噴火した、阿多カルデラの中に含まれている。まさに火山の博物館である。

4. 指宿の交通 JR 指宿枕崎線

<解答例> 288字

平成23年3月、九州新幹線鹿児島ルートの全線開通にともない、博多—指宿間は最短で2時間14分になった。指宿枕崎線で観光特急「指宿のたまで箱」が運航を開始した。

「指宿のたまで箱」の車体はふんだんに木が使われている。座席の多くは、海岸の景色がよく見えるように配置されている。車体は錦江湾に面した側が、クリームがかかった白、反対側が黒というデザインである。これは、玉手箱を開けた浦島太郎の髪が、黒から白になった物語をイメージしているという。また、乗降口上部からは煙に見立てた霧が噴き出す仕掛けがある。ネーミングの由来は、長崎鼻の竜宮伝説や枚聞神社の通称「玉手箱」と呼ばれる室町時代の化粧箱にちなんでつけられた。

5. 九州電力山川地熱発電所

<解答例>

259字

山川地熱発電所は平成7年に営業を開始した。

九州では大分の大岳発電所、八丁発電所に次いで3番目、全国では7番目に設置された事業用地熱発電所である。国内の地熱発電所のほとんどは、山間部の高地にあるが、山川発電所は海拔43mの低地にあるのが特徴である。山川発電所には蒸気を取り出すための12本の井戸がある。最も深いものは2100m、浅いものでも1800mもある。蒸気の使用量は1時間当たり225トンであり、発電出力は3万KWである。これは、1軒の家庭で平均3kw使うとすると、1万世帯分の家庭用電気がまかなえる事になる。